

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第55号	
事故等種類	養殖施設損傷	
発生日時	平成21年12月11日 04時00分ごろ	
発生場所	岩手県宮古市田老真崎沖 陸中真崎灯台から真方位034° 600m付近 (概位 北緯39° 45.4′ 東経142° 00.2′)	
事故等調査の経過	平成22年6月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 ^{りょうけい} 漁 恵丸、9.7トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 IT2-3751（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	<p>本船 プロペラ3枚曲損、プロペラシャフト曲損、スタンチューブ破損、船尾メタル破損</p> <p>養殖施設 ロープ2本切断、ロープ4本に擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか甲板員2人が乗り組み、さけ延縄漁を行う目的で、平成21年12月11日03時00分ごろ、田老真崎沖の漁場に到着した。</p> <p>船長は、操業開始許可時刻まで漂泊して待機することとし、操舵室内の椅子に腰をかけた姿勢でいたところ、居眠りに陥った。</p> <p>本船は、その後、わかめ養殖施設に向かって流され、04時00分ごろ、同養殖施設に乗り入れた。</p> <p>本船は、機関を後進にかけてわかめ養殖施設から脱出しようとしたところ、浮遊ロープをプロペラに巻き付けた。</p> <p>本船は、漁業無線局に救助を要請し、ダイバーにより浮遊ロープを除去して自力で岩手県山田町大沢漁港に帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2</p> <p>海象：平穏、潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	<p>操業許可時間は、04時00分～20時00分の間であった。</p> <p>本船は、事故の前日は漁が芳しくなく早めに操業を切り上げており、船長は、休養をとることができ、睡眠不足ではなかった。</p> <p>船長は、疲れてはいなかったが、サーカディアンリズム（概日リズム）で強い眠気が生じるとされている時間帯に漂泊していた。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、田老真崎沖の漁場において漂泊中、船長

	<p>が、居眠りに陥ったため、わかめ養殖施設に向かって流され、同養殖施設に進入したものと考えられる。</p> <p>船長は、強い眠気を生じるとされている時間帯に、椅子に腰をかけていたことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、田老真崎沖の漁場において漂泊中、船長が居眠りに陥ったため、わかめ養殖施設に向かって流され、同養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。</p>